

# 授業改善等に関する報告書（2025年前期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Learning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を探っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2025（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
家族社会学	広井 多鶴子	自己評価も、総合的な満足度も高く、授業の内容・進め方はだいたいよかったですのではないかと思います。 「女性問題や現代のジェンダー問題に関して多面的に考えること、昔と現代を比べて変化していった部分を考えながら取り組む流れは私的にとても理解しやすく、興味深いものであった」「現代社会の問題を知り、課題を発見する力が身についた」といった感想があり、授業の意図は十分伝わったのではないかと思います。
行動科学	坊 隆史	アンケートのご回答をありがとうございます。全ての項目で全体平均・当該区分平均より肯定的な結果となり、皆さんのご期待に沿えたことを嬉しく感じています。 昨年度のアンケート結果を受け、説明方法を工夫をするなど授業のブラッシュアップができました。誤字脱字が多かったとのコメントは仰るところでご迷惑をおかけしました。その他、皆さんのコメントを参考にして次年度はよりよい授業を目指します。
臨床心理学概論	富田 望	アンケートには、自分自身を客観的に理解する機会になったという声や、自らの成長を実感できたという声も多く、大変嬉しく思いました。アンケートの点数からも、毎回の授業を意欲的に取り組んで下さっていたことが窺えました。今回の学びを、日常生活のストレスマネジメントなどにぜひ活かしていただけたら幸いです。
ワーク・ライフ・バランス論	山根 純佳	設問三の回答にばらつきがあったので、ばらつきがなくなるよう工夫したい
社会ネットワーク論	松下 慶太	オンデマンドの部分と教室での対面のバランスを意識した授業構成を目指したが、評価からはある程度達成したと言える。 ただし特に対面での発表形式は履修人数によって調整が必要になるため、履修者が増えた場合にどのようにするか、対応を考えたうえで次年度に臨みたい。
現代教育論 月曜配信（渋谷）	井出 大輝	概ね肯定的な評価を頂きましたが、不満のある方がおられたようで、申し訳ございません。みなさんから頂いた毎回のコメントを参考に、適切な内容と方法へと改善してまいりたいと思います。ありがとうございました。
心理学実験 I	粟津 俊二	総合満足度が4.67ですので、授業に特に問題はなかったと判断します。みなさんよく頑張りました。
心理学研究法	坊 隆史	アンケートのご回答をありがとうございます。 用語が難しく感じられることに加えて、科学的思考が要求されるため、難易度が高く感じたのではと思います。難しいと感じた方が多い一方で、「先生がたくさん準備をしてわかりやすくしてくださっていたこともあって、頭を使わずにできてしまった」という回答もあり、難易度設定については次年度も工夫させていただきます。 また「5分入室が遅れただけで欠席扱いになってしまって悲しかった」という自由記述がありました。本科目はグループ演習形式が多く、遅刻は他の受講生に大きな影響を及ぼすため厳正に取り扱うと説明してきました。充分に説明したつもりでしたが、次年度はより丁寧に趣旨を伝えることにします。
学習・言語心理学 土曜配信（渋谷）	間野 陽子	本授業はオンデマンド形式で配信しました。学生アンケートの集計結果では、「総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」という問い合わせに対し、回答者の約9割が「当てはまる」と回答しています。 「学習・言語心理学」では、心理学のさまざまな現象を通して、言語の習得過程や行動の変容について学びました。特に、言語習得に関わる脳の機能については、多様な言語障害の事例をもとに詳しく取り扱いました。本講義を通じて新しい知見に触れ、理解を深めることで、思考力を高めるとともに、疑問に思ったことを自ら調べて学ぶ「自己主導型学修」の姿勢を身につけることができたのではないかと思います。授業で得た知識が、みなさんの日常生活や、社会における多様性の理解に役立てられることを願っています。
産業・組織心理学	坊 隆史	アンケートのご回答をありがとうございます。ほぼ全ての項目で全体平均・当該区分平均より肯定的な結果となり、皆さんのご期待に沿えたことを嬉しく感じています。 昨年度のアンケート結果を受け、ボリュームや説明速度を工夫するなど授業のブラッシュアップができました。皆さんのコメントを参考にして次年度はよりよい授業を目指します。
福祉心理学	塩谷 隼平	2025年度から担当した科目で、授業の進め方、教室の機材、学生の様子など授業前に未定や不明な点も多かったが、すべての設問において、全体平均および当該区分平均よりも高い数値となりよかったです。特に、BYODを実践している大学での授業は初めてで、紙での資料配布を行わず、manabaを利用してpdfファイルでの配布のみを行ったので、学生の評価や反応が気になったが、設問9「配布資料はわかりやすかったですか？」の数値が4.90と高い値になり安心した。

[2025（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
心理的アセスメント	富田 望	グループワークやロールプレイング、事例検討などが楽しかったという感想を多くの方からいただき、大変嬉しく思っています。回を重ねるごとに、皆さんのが心理アセスメントを多面的に行えるようになっていく様子が感じられ、私自身も授業をとても楽しく進めることができました。今回の学びを、ぜひこれから的生活に役立てていただけますと幸いです。
多文化社会論	高橋 美和	民族・多文化共生について学びになった、とのコメントが多く、手ごたえを感じました。授業後課題のフィードバックは、数値など詳細が重要な場合はmanabaコンテンツに、そうでない場合は次回授業内で口頭でしていましたが、後者について採点基準を明瞭にしてほしいという要望がありました。今後、検討したいと思います。
企業戦略論 木曜配信（渋谷）	吉田 雅彦	総合満足度　たいへん満足　どちらかといえば満足　計75.9%は、微妙な数字だと思います。 本を読むスピードは個人差が大きいので、対面で行うと、早い人と遅い人のバランスをとることが難しいです。 オンデマンドですと、学生の本を読むスピードの差に左右されないで授業できることがメリットだと感じました。 反面、じっくり本を読むよりも、動画やレジュメで要点を素早く学びたい学生からは「読むだけではつまらない」という評価がありました。 一般に、一定の情報を短時間で分かりやすく伝えたい場合、動画が適している。詳細な情報を伝えたい場合、文章が適しているとされています。この授業は後者です。 来年度からはシラバスにこの授業のねらいを明記して、文章で詳細な情報を学びたい学生に履修してもらうよう呼びかけ、その上で改善を続けたいと思います。
会計学総論 I	蒋 飛鴻	履修者25名のうち、7名の回答がありました。総合評価では全体平均の4.39に対して、この科目は4.29となっています。履修者全員が満足できるような講義をするために、今後シラバスの組み直しをしたいと思います。ご回答をどうもありがとうございました。
消費者保護論 火曜配信（渋谷）	金津 謙	ご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
経済法	金津 謙	ご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
人的資源管理	初見 康行	本講義では「人的資源管理」をテーマに、企業の人事領域を広く学習しました。 大人数の講義でしたが、「企業の人材育成の方法や、選考基準、働き方など現代の日本の企業を学ぶ機会があつてもタメになりました」、「学生同士で意見を共有する機会が多かったので、学びになった。」などのコメントがありました。 ぜひ今後も人事の仕事に关心を持ち続けてもらえれば嬉しいです。 最終的に「15. 総合的な満足度」の評価は4.85でした。 また、「11. 成長実感」が4.68、「16. 意欲的に取り組んだ程度」が4.69でした。 多くの学生が意欲的に学んでくれたようで良かったです。 皆さん回答ありがとうございました。
経営分析論	蒋 飛鴻	履修者19名のうち、5名の回答がありました。総合評価では全体平均の4.39に対して、この科目は3.80となっております。履修者全員に満足できるような講義ができるため、会計基礎のない履修者も全体の内容についていくよう今後シラバスの組み直しをしたいと考えております。ご回答をどうもありがとうございました。
イノベーション論 木曜配信（渋谷）	篠崎 香織	オンライン授業なので、履修者の意見を次回の授業に反映していくことで、双方向性を感じられるような授業にしていくことを心掛けました。 一方、それは履修者が授業を受けるタイミングをこちらである程度コントロールすることになるので、その点をシラバスに明記するようにしてきます。

[2025（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
リーダーシップ論	初見 康行	<p>本講義では「リーダーシップ」をテーマに、リーダーシップの古典的な理論を広く学習しました。</p> <p>また、講義後半では「女性活躍とリーダーシップ」をテーマに、現状と課題について学びました。</p> <p>大人数の講義でしたが、「リーダーシップの理論や女性として社会に出るにあたって必要な知識を身につけることができた」、「レスポンを使用し双方の考え方を伝えたり、動画でわかりやすい解説があったのがよかったです」などのコメントがありました。</p> <p>ぜひ今後もリーダーシップの育成に関心を持ち続けてもらえれば嬉しいです。</p> <p>最終的に「15. 総合的な満足度」の評価は4.87でした。      また、「11. 成長実感」が4.74、「16. 意欲的に取り組んだ程度」が4.69でした。</p> <p>多くの学生が意欲的に学んでくれたようで良かったです。</p> <p>改善点として、毎回レジェメを配って欲しいという要望がありました。      今後改善していきたいと思います。皆さん回答ありがとうございました。</p>
人材開発論	初見 康行	<p>本講義では「人材開発」をテーマに、企業の人材育成や組織開発について広く学習しました。</p> <p>大人数の講義でしたが、「人材開発・組織開発の考え方から企業の実例までを学び、基礎から応用まで幅広い知識を得られた」、「こんなにレスポンを使う授業は受けたことが無かったため、他の授業よりも学びが定着するし、参加したくなる授業だと感じた。」などのコメントがありました。</p> <p>ぜひ今後も自己の成長や人材育成の仕事に関心を持ち続けてもらえれば嬉しいです。</p> <p>最終的に「15. 総合的な満足度」の評価は4.90でした。      また、「11. 成長実感」が4.77、「16. 意欲的に取り組んだ程度」が4.79でした。</p> <p>多くの学生が意欲的に学んでくれたようで良かったです。</p> <p>改善点として、スライドを変えるのが早かった、という意見がありました。      今後改善していきたいと思います。</p> <p>皆さん回答ありがとうございました。</p>
経済発展論	角本 伸晃	「Q15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」で4.25と全体平均の4.39より低かったので、次年度の授業では改善したいと思います。
観光事業論	角本 伸晃	Q16 「あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか？」では全体平均の4.39よりも高い4.50でした。 学生の頑張りを引き出せるよう、来年度の授業ではさらに改善したいと思います。
サステナビリティ論	佐倉 統	<p>授業評価アンケートへの回答、ありがとうございました。回答者数がやや少なかったのが残念でしたが、私からも回答をもっと促すべきでした。</p> <p>「授業の進むスピード (QII-6)」「説明の分かりやすさ (QII-7)」「板書、パワポ、配付資料のわかりやすさ (QII-9)」が平均より低い点数（順に3.80, 3.60, 3.80）だったので、来年度は改善が必要と考えています。スピードはシラバスより遅れてしまったのが反省点です。</p> <p>分かりやすさについては、視聴覚教材を取り入れるなど工夫したつもりでしたがまだ足りなかつたようです。スライドは授業後ではなく授業前に配布してほしいとの自由記述がありました。具体的な指摘はありがたいです。来年度はそのようにします。</p> <p>「双方向授業の工夫」 (QII-8)については、ワークショップやグループディスカッション、学外施設訪問、外部講師招聘など、これもかなり工夫したつもりでしたが思ったほどの高評価ではありませんでした (4.00)。さらに何をすれば良いのか、他の先生方からのアドバイスもうかがいつつ、改善点を具体化したいと思います。もし受講生のみなさんからアイディアがあれば、お知らせ下さい。</p>

[2025（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
社会科学におけるAI・機械学習	今田 一希	<p>終盤の大切な講義で私の体調不良によって十分な講義が出来ず、大変申し訳ございませんでした。</p> <p>とても難しい内容だったと思います。そんな講義に対し、授業資料や進め方について「理解しやすい」「説明が明確であった」と評価していただけた点は大変励みになります。しかし、今回は数学の理論的な土台を前提としない講義として、イメージを持ってほしいというモチベーションの講義だったため、演習などはなかなか時間的にも・難易度的にも盛り込むことが出来ず、「十分に理解できた」との実感にはまだ至っていない回答が多かった点は申し訳なく思います。</p> <p>機械学習・AIがどのようにものを考え、判定をしているのかというイメージを掴んでいただけたのであれば、次の学びにつながる土台を作れたのではないかと思います。是非、ゼミや他のデータ分析の演習的な講義にも参加していただき、実践の経験も積んでいただければと思います。</p>
実践デザインラボⅡ	標葉 靖子	<p>インクルーシブデザインに取り組む上で欠かせない当事者の方々との対話やフィールドワークやプロトotyping&amp;テストの重要性を感じ取ってもらえていたようで良かったです。自分も社会を変える一員なのだという姿勢で、今後も小さなことでも良いので「社会をより良くする」ために何ができるのかを考え、行動に移していってください。</p>
表象メディア論	田中 瑛	<p>この授業では、メディア作品を自分なりの仕方で批評していくという、創造性や批判的な感性が問われる力を身に付けました。開講したばかりの授業ですが、回を追うごとに表現力や複眼的な批評の力が伸びていき、非常に個性的な最終課題が多く提出されました。また、実際に作品を見て感想を言い合う時間が面白かったとの声が多くありました。この授業は参加ありきの授業ですので、主体的に授業に参加してくれた皆さんのおかげかと思います。1つの物事に対して複数の解釈が与えられるということに加え、1つの見方に固執せずに複数の見方の間で留まり続ける力は重要なものですので、今後も意識してもらえば嬉しいです。</p>
メディア・コミュニケーション論 水曜配信（渋谷）	田中 瑛	<p>この授業では、メディア・コミュニケーションを読み解く上で重要な社会理論を中心に学んでいました。各回で課していた小レポートも楽しみに読ませてもらいました。新たに「表象メディア論」が開講したため、こちらはより理論的な内容に重きを置いた授業になりました。そのため、少し学術的で難しい話も増えたかもしれません、説明やスライドがわかりやすかったという声が多く聞かれ安心しました。</p> <p>また、期末レポートを見る限り、学んだ概念をしっかりと応用して自分のものにできている学生がとても多く、自分自身で思っているよりもしっかり理解できたのではないかと思います。また、成長実感や分野に対する関心、意欲的に取り組んだかといった項目が昨年度と比較して高くなりました。モヤモヤに喰らいつきながら課題に取り組んでくれたんだと思います。</p> <p>他方で、残念ながら、期末レポートで「存在しない文献」を挙げる学生が、断定できる範囲だけで9名も見られました。その他の引き写しが疑わしい事案も含め、いずれにせよ信頼が置けなくなる行為ですので、心当たりのある人は二度とやらないようにしてください。</p> <p>オンデマンドの授業なので顔が見られませんが、今後、どこかで会うことがあったら気軽に声をかけてください。引き続きよろしくお願ひします。</p>
メディア情報学 金曜配信（渋谷）	板倉 文彦	<p>この科目では、メディアについて情報学視点から最新の現状と将来に向けての基礎スキル修得を目的としてきました。フリーコメントからは、メディアに対する理解が深まったとのコメントが多く寄せられており、目的はある程度達成できたかと思います。</p> <p>評価数値も全ての科目で平均値を上回っており、毎回課題が課されていたにもかかわらず、学生の皆さんのが積極的に取組んでいただけた結果が反映されたものと考えています。</p>
情報セキュリティ	板倉 文彦	<p>情報セキュリティに関する知識と重要性が身に付いたとのコメントが複数寄せられており、授業目的はある程度達成できたかと思います。</p> <p>評価数値も概ね平均を上回っていましたが、フリーコメントに説明をもう少し簡潔にして欲しいとの意見がありましたので、今後反映していきたいと思います。</p> <p>本科目は企業とのPBLも組み込まれていましたが、全員積極的に参加してもらいうことが出来、企業様からも高評価を得られました。学生の皆さんの努力の成果かと思います。</p>
応用倫理学	筒井 晴香	<p>アンケートへの回答ありがとうございました。</p> <p>授業ではマンガのエピソードを題材にした倫理学のテキストを用いて、応用倫理学の色々なテーマや問い合わせ方を紹介し、ディスカッションしてもらいました。皆さんにとって新しい考え方に対する機会が多かったと思うので、少し取り組みづらいと感じた方もいたかもしれません、興味深さを感じただけたのではないかと思います。今後、ニュース等に触れる際にもこの授業のことを思い出し、多角的に考えてもらえば幸いです。</p>

[2025（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
身体論	筒井 晴香	<p>アンケートへの回答ありがとうございました。</p> <p>授業では教科書を輪読し、議論を通して心や身体へのエンハンスメント技術の倫理について考えました。初心者向けながらしっかりと議論が組み立てられた教科書のため、難しいと感じた方もいたかと思いますが、皆さん少人数でのディスカッションに意欲的に取り組んでくださったと思います。授業を通して知ったものの見方や考え方を、今後の学習や生活の中で活かしていただければ幸いです。</p>
テクノロジーと性	筒井 晴香	<p>アンケートへの回答ありがとうございました。</p> <p>教科書を自分でしっかりと予習し、様々なグループワークにも取り組んでいただく必要のある授業だったため、負担は少なくなかったと思いますが、意欲的に取り組んでいただいたと思います。また、ジェンダーに関する受講者は多いと思いますが、授業では技術、都市・交通、移動といった話題に絡めることで、新しい考え方や視点に触れてもらえたのではないかと思います。今後の授業や生活の中でもこの授業で知ったことを思い出し、さらに学習や思考を深めていっていただければと思います。</p>
社会情報学概論 月曜配信（渋谷）	佐倉 統	<p>授業評価への回答、ありがとうございました。</p> <p>おおむね、平均点程度の評価でほっとしていますが、「シラバスとの一致度（QII-5）」や「授業のスピード（QII-6）」が少し低い評価で、これらについては来年度は修正したいと思います。</p> <p>「この科目をさらに学びたいか？（QIII-13）」と「総合的満足度（QIII-15）」の得点があまり伸びなかつたのも残念なところで、さらに魅力的な授業内容になるよう、コンテンツを見直したいと思います。</p>
人間社会学入門 木曜配信（渋谷）	竹内 光悦 広井 多鶴子 駒谷 真美 神山 静香 井上 綾野 高橋 美和 標葉 靖子 筒井 晴香 田中 瑛 今田 一希	<p>本講義は、人間社会学部での学びの広がりを知るために、多くの学部教員が担当しました。自由記述からも、その意図がおおむね伝わっているようです。これから学びや学科選択の参考にしてください。もちろん不明点は各教員に質問してください。</p>
心理学概論	竹内 美香	<p>「心理学」講座をW. Wundtがライプツィヒ大学に初めて開講してから約140年というところです。心理学は新しいのか、古いのか。当初、とても限られていました研究手法も、現代ではたとえばAIが利用可能になることで多彩になっていいます。「心を深く潜って探す」イメージで入学した皆さんに、現代科学としての心理学の流れを紹介するのがこの科目の趣旨でした。概要を知ったうえで、ご自身の興味やテーマをさらに探してください。これから履修できる科目には、まだまだ精緻な心理学の各分野の学びが準備されています。</p> <p>ここ数年、対面講義を補うという趣旨で、録画も配信していました。利用していただけたでしょうか。</p> <p>なお、前期課題として先輩の調査実習に回答協力しながら学ぶこともして頂きました。リンクの不備があり、アクセスしにくい調査がありましたが、こちらはmanabaで対策を明示していました。しっかりと見て対応した方、「とばして」しまった方様々でした。</p> <p>当然、しっかり追加指示をみて対応した方の努力を加算評価しました。システム不調はいつでも起こること。大切なのは、それを「飛ばさず」に丁寧に対処することと思うのです。</p>
コミュニケーション概論	標葉 靖子	<p>「コミュニケーション」が多様な学問領域と接続していることが、おおむね伝わっていたようで安心しました。大学の講義ですので、漫然と聴いていただけでは理解できない・難しいと感じたかもしれません。今後はより専門的な授業となっていくかと思いますが、授業時間外の予習復習にも時間を使って学びを深めていってください。</p>
社会学概論	原田 謙	<p>成績評価はBが約半数、続いてCとAが2割弱ずつ、+Aは1割弱、不合格は若干名になりました。授業内での皆さんのレスポンでの回答は、授業の進行上でも大変有意義でした。2年次以降の演習や講義でも、社会学的なアプローチを活用してください。</p>
法律学概論	金津 謙	ご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
経済学概論	吉田 雅彦	<p>総合満足度 たいへん満足 どちらかといえば満足 計81.3%は、経済学概論としてはまずまずかなと思います。</p> <p>高校までに苦手意識があった学生の中で、身近に感じたり、将来の社会人になったときに必要だと感じてくれた学生が多数いたことは、「女性が社会を変える、世界を変える」という学祖の建学の精神に貢献できたのかなと感じます。</p>
簿記論 I	蒋 飛鴻	履修者122名のうち、45名の回答がありました。総合評価では全体平均の4.39に対して、この科目は4.60と高くなっています。今後も良い講義を継続できればと思います。ご回答をどうもありがとうございました。

[2025（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
簿記論 I	小澤 康裕	回答ありがとうございます。予習復習時間（平均約1.5時間）が多いことは大変ありがたいですが、もう少し時間が増えるようにしたいと思います。努力した人が成果を認識できるよう、さらに全体的な満足度が上がるよう改善してまいります。
アントレプレナーシップ論	児玉 充	PBLの実施も含め受講生の皆さんにとってより興味深いコンテンツを提供できるように努めます。
社会調査概論	竹内 光悦	評価は平均的でしたのでとりあえずと感じています。後ろの席の私語の指摘も自由回答にありましたので、何らかの対策を考えたいと思います。
演習 II a	標葉 靖子	チームでプロジェクトを取り組むなかで、問い合わせの設定、リサーチ、提案の立案、プレゼンテーションなどを経験できたのではないですか。授業外での自学自習も含め、チームで取り組む上での準備の大切さや自分なりの貢献の仕方など、今後も主体的に能動的な学びを継続していってください。
演習 II a	今田 一希	今回「2050年の未来」「ルッキズム」というとても難しいテーマに対し、短い時間ながらも皆さん真剣に考え、最終的に何らかの形として皆さんの意見を形にするという経験をしてくれたことをとても嬉しく思います。 特に、問い合わせを立てて深める姿勢や、グループでのアイデアの共有、プレゼンや企画書の提出にしっかり取り組んでもらえたことが印象に残っています。  これからも大学生活・社会人生活でも、必ず皆さんの知識・興味から外れた課題に対し何らかの回答をしなければならない機会が訪れます。 この授業のみならず、演習やPBL系の授業が皆さんの助けになると思いますので、今回の経験も合わせて助けとしていってください。
演習 II a	林 篤裕	「ルッキズム」というややもすると扱い難いテーマであったが、学生は興味を持って熱心に取り組んでくれる安堵している。テーマ設定が重要であることを認識した。
演習 II a	佐倉 統	おおむね高い評価をもらえたのでほっとしています。 説明は歌を例に出すなどかなり工夫したつもりでしたが、思ったほど高評価ではなかったので、さらに工夫が必要なのかなと思っています。
演習 II a	原田 謙	自分自身でテーマを決めて、資料収集を行い、発表するということが初めての学生もいたと思いますが、それぞれ成長と今後の課題を感じることができたようです。今後も、この演習で学んだ方法等を活かしてください。
演習 II a	高橋 美和	アカデミックスキルの部分では、レポートや発表で学びが多くなったというコメントがあり、また、授業のテーマであった「多文化共生」について学びのきっかけになったという声もあり、嬉しい限りです。アウトライン～レポート～プレゼンのプロセスでのフィードバックが少し遅れ気味だったこと、お詫びします。でも、皆さん、よく頑張りました！
演習 II a	駒谷 真美	この講義の前半は、2年次がゼミ選択の時期であるゆえ、ゼミで学びたいことについて、卒論活動の同様のプロセスで、mindmap・文献リスト作成・文献研究・プレゼンを行った。履修生は、個々の興味関心を学術的視点で捉えるようになり、ゼミ選択の契機になっていた。 後半は、グループワークでPBLを実施した。下田歌子記念女性総合研究所のクロスマディア化プロジェクトをOODAループの方略で行った。2年生には高度な内容であったが、履修生は積極的に取り組み、Z世代の斬新な企画を出していた。履修生たちは、毎週チームで考えた課題を試行錯誤しながら解決し、ブリーフプレゼンで途中経過を発表し、互いにフィードバックし、講義外でもディスカッションを深めて、高め合っていった。 その結果が、授業アンケートにおいて、全体や当該区分平均値を上回る数値として表れていた。特に、成長実感・学習意欲・自己評価・授業満足・意欲取り組みが高い数値であった。グループの企画は、PBLが机上の空論ではなく、OODA Loopに基づいて、実践へのブレイクスルーとなっている。履修生たちの育ちを見せて大変喜ばしい。
演習 II a	山根 純佳	大問Ⅲについて、回答にばらつきがあったので、多くの学生が満足できるよう工夫していきたい
演習 II a	栗津 俊二	総合満足度が4.5ですので、授業に特に問題はなかったと判断します。みなさんよく頑張りました。
演習 II a	吉田 雅彦	総合満足度 たいへん満足 どちらかといえば満足 計83.4%は、レポート、論文の書き方を、アカデミックハンドブックに沿って地道に仕上げるというめんどうで地味な授業の評価してはまずまずかなと思います。 来年のゼミや、その後の卒論で、苦労したことはきっと活きます。
演習 II a	井上 綾野	PBLの手法を学ぶのははじめてではなかったと思いますが、PBLを実施するにあたって考え方のベースを構築することができてよかったです。

[2025（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅱa	篠崎 香織	<p>企業さんとの連携が前提の授業で、また企業さんから課題に対応する形の授業で進行したので、やりにくかった方もいらしたかもしれません。一層細かな点に気を配って授業を進めていきます。</p> <p>半期お疲れ様でした。</p>
演習Ⅱa	神山 静香	<p>多くの項目で回答者から肯定的な評価と全体平均を上回る評価をいただき、また、自由記述では、知識の幅が広がったことが挙げられており、多数の肯定的なコメントをいただきありがとうございました。特に、自分自身の成長を実感できたかとの質問項目について、回答者全員が肯定的な回答しており、大変嬉しく思いました。授業の満足度の項目も同様でした。今年度の評価は次年度に活かしていきたいと思います。</p>
発達心理学 水曜配信（渋谷）	竹内 美香	<p>オンデマンド型授業は、コロナ禍の中で発達した「苦肉の」学び手法でしたが、私たち自身、もはやそれも1つの大きな選択肢として活用する状況にっています。</p> <p>ヒトの仕組み自体が変わったわけではないので、やはり「オンデマンド型授業」は大変だったのではないか。</p> <p>最後まで、頑張ってくださった受講生の皆さま、改めて御礼申し上げます。内容は、お母さんの胎に、新しい生命として宿って育ち、生まれ、独立した1つの生物系となり、社会環境の中で情報をとらえ・処理する情報系となり、生涯の価値追究と獲得、生の和解までを駆け抜ける「発達」をできるだけ自分のこととしてとらえなおせるように講義を構築しました。</p> <p>この講義をきっかけとして、ご自身の「これまで」と「これから」を輝かしい貴重なものとして捉えなおして頂ければ幸甚です。</p>
文化人類学	高橋 美和	<p>アンケートの各項目は平均値に一致しており、おおむね妥当な授業だったのかなと思います。異文化について興味がわいたとのコメントが多く、嬉しい限りです。資料スライドや予習課題についてコメントをいただきました。ありがとうございます。今後の授業改善に生かしていきます。</p>
女性と労働 木曜配信（渋谷）	山根 純佳	<p>予習・復習時間の回答にはばらつきがあったので、ばらつきがなくなるようにしたい。オンライン授業のため、何度もアンケートへの回答をお願いしたが11ケースしか回答がなかったので、どのようにしたら回答数が増えるか今後検討したい。</p>
メディア社会論	駒谷 真美	<p>まず「メディア社会論」が、アンケートで全体平均と当該区分平均を上回る評価を得て、履修した学生たちの育ちに役立てたこと、心より嬉しく思っている。特に、成長実感・学習意欲・自己評価・授業満足・意欲取り組みが高い数値であった。教員として今後の励みとしたい。</p> <p>履修生たちは第14回まで真面目にかつ積極的に取り組んでくれた。毎回メディアに関わる重要案件について、responのイントロ・ブレイクアンケートやリフレクションシートを一生懸命に考えて回答してくれていた。特に、アドミュージアム東京の広告コミュニケーションと、テレビ朝日の災害報道については、ゲストスピーカー講演とフィールドワークとレポートを課題にしたが、いずれもゲストから高い評価を得ていた。</p> <p>この講義を通して学んだメディア情報リテラシーを糧に、不確実性時代（VUCA）を生き抜いていってほしい。</p>
国際関係概論	神山 静香	<p>授業の満足度に対し、全回答者から肯定的な評価をいただき、また、殆どの項目で90%の回答者から肯定的な評価をいただき、ありがとうございました。自由記述では、授業で取り扱ったテーマについて理解が深まったことを挙げている方が多く、意欲的に取り組んでくれた方が多かったとの印象をもっておりました。いただいた評価結果は、次年度に活かしたいと思います。</p>
民法概論	小川 清一郎	<p>双方向授業等の工夫が不足しているようでしたので今後は質問、manaba等の利用を拡大していきたいと思います。</p>
マーケティング論 金曜配信（渋谷）	井上 綾野	<p>オンラインで学ぶのは難しかったかと思いますが、基本的な理論や概念をよく理解できていたと思います。ここで学んだことを2年後期以降の深い学びに活かしてください。</p>
商法概論	神山 静香	<p>今年度は、例年よりも難易度の高い資格試験の問題についても検討していました。非常に難しい内容だったため、授業の理解に努力を要したことがアンケート結果に出ていると思いました。一方で、回答者の95%が自身の成長を実感できたと回答しており、自由記述でも、論理的思考力が向上したことを挙げていただいている方が多かったことから、意欲的に取り組んでくれた方が多かったとの印象をもっておりました。いただいた評価結果は、次年度に活かしたいと思います。</p>
キャリア・デザイン論	吉田 雅彦	<p>総合満足度　たいへん満足　どちらかといえば満足　計90.7%は、決して簡単でもなく、将来の就職活動の不安とも密接に関係するこの科目としては上々かなと思います。</p> <p>就職活動だけでなく、人生を見つめなおした学生が多かったのは喜びです。</p>

[2025（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
リーダーシップ開発 b	児玉 充	PBLの実施も含め受講生の皆さんにとってより興味深いコンテンツを提供できるように努めます。
データベース基礎 水曜配信（渋谷）	竹内 光悦	評価は平均的で、自由回答もあまりなかったので、とりあえずかなと。次年度はさらにわかりやすさを目指したいと思います。
英語コミュニケーションⅡ a	阿佐美 敦子	皆さんには欠席もほとんどなく授業に真剣に取り組んでいただき、ありがとうございました。これは、「この授業に意欲的に取り組みましたか」という問いに42.3%の方が「とてもよくあてはまる」、34.6%の方が「どちらかといふとあてはまる」と回答した数字にも表れていると思います。そして、総合的な満足度としても46.2%の方が「とてもよくあてはまる」、46.2%の方が「どちらかといふとあてはまる」と答えてくださり、嬉しく思います。 一方で、「この科目をさらに学びたいですか」の問には、11.5%の方が「どちらともいえない」、7.7%の方が「あてはまらない」と答えたことが非常に残念です。英語は将来、今よりさらに日常的な存在となり、必要不可欠になることが予想されますので、来期以降、皆さんのモチベーションを上げる工夫に努めます。どうぞよろしくお願ひいたします。
英語コミュニケーションⅡ a	時田 朋子	英語Readingの授業はいかがでしたか。シャドーイングの練習もしっかりと行い、総合的に英語の力をつけてください。覚えることにもしっかりと取り組んでください。英語のスキルアップを目指して後期も頑張りましょう。
英語コミュニケーションⅡ a	阿佐美 敦子	皆さんには欠席もほとんどなく授業に真剣に取り組んでいただき、ありがとうございました。これは、「この授業に意欲的に取り組みましたか」という問い合わせに34.6%の方が「とてもよくあてはまる」、42.3%の方が「どちらかといふとあてはまる」と回答した数字にも表れていると思います。そして、総合的な満足度としても38.5%の方が「とてもよくあてはまる」、42.3%の方が「どちらかといふとあてはまる」と答えてくださり、嬉しく思います。 一方で、「この科目をさらに学びたいですか」の問には、30.8%の方が「どちらともいえない」、15.4%の方が「あてはまらない」、7.7%の方が「まったくあてはまらない」と答えたことが非常に残念です。英語は将来、今よりさらに日常的な存在となり、必要不可欠になることが予想されますので、来期以降、皆さんのモチベーションを上げる工夫に努めます。どうぞよろしくお願ひいたします。
英語コミュニケーションⅡ a	富倉 教子	今学期、オンデマンド授業お疲れ様でした。 また授業の貴重なご意見をありがとうございました。 この授業が何か皆さんのお役に立つことがあったとしたら、大変嬉しく思います。今後もこのアンケート結果を参考にして、英語をさらには英語を通して多角的に学ぶことができるよう努力していきたいと思います。それでは今後の皆さんのご活躍をお祈りしています。
英語コミュニケーションⅡ a	長谷川 奈緒美	これまでの授業に積極的に参加し、自ら学ぼうとする姿勢を見せてくれた皆さんに心より感謝します。オンデマンド配信形式の授業であるため、どうしても受け身の姿勢になってしまうことは否めませんが、語彙の小テストでは多くの学生さんが主体的に努力している姿勢が印象的でした。読解活動では、資料やタスクに真剣に取り組む姿勢は確実に成長につながっています。英語を「読む」力は、一朝一夕には身につきませんが、継続することで確実に力になります。今後も日々の積み重ねを大切に、自信を持って学習を続けてください。皆さんの今後の活躍に期待しています。
英語コミュニケーションⅡ b	オーラ, ベン	コメントの大部分は非常に肯定的なものだったので、来学期もほぼ同じ内容で授業を続ける予定です。また、授業の改善に関するコメントも記録し、秋学期に改善策を実施します。
公認心理師の職責 月曜配信（渋谷）	富田 望	「公認心理師の職責」は、公認心理師受験資格要件に関わる科目のなかで特に基盤となる科目といえます。後期以降も、公認心理師に関する学びを進めるなかで、本講義のレジュメをぜひ読み返してみていただければと思います。
心理実習	竹内 美香 栗津 俊二 富田 望 坊 隆史	国家資格「公認心理師」受験資格取得のために必要な学部必須科目の1つとして「心理実習」科目が設定されています。 単位も誰でもが履修できるほど簡単なものではありません。 前期も「フル稼働」の取り組みとなり、教員も学生さんも大変だったと思います。（専門的心理職の大変さの1/100くらいです。） 健康に気をつけて、後期も頑張りましょう。たくさんの出逢いと発見が待っています。
関係行政論 木曜配信（渋谷）	福田 幸夫	広範囲な法制度の解説でしたが、公認心理師の資格にとっては重要な学習だったと思います。
社会言語学	時田 朋子	社会でどのように言語が使用されているかを皆さんと一緒に考えるこの授業は、とても楽しい時間でした。私たちは言語を使用して生活をしています。授業で学んだ視点から今後とも社会を捉えてみてください。さらに大きな気づきを得ることができますと思います。

[2025（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
地域社会学	原田 謙	成績評価は、Bがもっとも多く、続いてA、+A、C、不合格（失格）の順になりました。地域をとらえるものの見方については、今後の演習などで活かしてください。
社会科学データ分析 月曜配信（渋谷） 林 篤裕		レポートの書き方を講義内容に含める必要があることを認識したので、次年度には組み込む予定にしている。
社会調査実習 I	竹内 光悦	評価は平均的でとれあえずでした。授業評価とは別ですが、調査系の実習ですが、なにより回収率が低いのはそれそれで残念でした。これらも含めて改善を目指していきます。
メディア情報リテラシー	駒谷 真美	<p>本講義は、情報社会の根幹を理論的に追究する高難易度の講義内容である。PBL・アクティブラーニング・ピアラーニングの手法を取り入れて、履修生全員が主体的に参加している。「女性とメディア」について、#Metooや生理の貧困やルッキズムなどの最新のトピックも履修生の希望に寄り添って取り上げている。</p> <p>この講義を通して、履修生たちは、メディアからの一方的な情報を鵜呑みにすることなく、次第に自分たちの視点でグループディスカッションとプレゼンを行えるまでになっていた。</p> <p>履修生が個人とグループ、両方の立場で深慮しながら真摯に取り組む姿が、PBL・アクティブラーニング・ピアラーニングで促進され、本講義の目的である「クリティカル・シンキングの基盤となるメディア情報リテラシーの育成」に繋がったと考える。</p> <p>その結果が、授業アンケートでは、成長実感度・学習意欲・自己評価・意欲取り組みに高い数値として表れていた。履修生たちの育ちを見れて大変喜ばしい。</p>
流通サービス論	井上 綾野	流通は専門用語が多く、最初は難しく感じたと思いますが、理論やモデルを駆使してよく学べていたと思います。
演習Ⅲ A	阿佐美 敦子	<p>皆さんには英語の学習と並行してコミュニケーションの授業に真剣に取り組んでいただき、ありがとうございました。これは、「この授業に意欲的に取り組みましたか」という問いに85.7%の方が「とてもよくあてはまる」、14.3%の方が「どちらかというとあてはまる」と回答した数字にも表れています。そして、総合的な満足度としても85.7%の方が「とてもよくあてはまる」、14.3%の方が「どちらかというとあてはまる」と答えてください、嬉しく思います。</p> <p>英語および異文化コミュニケーションスキルは将来、今よりさらに日常的な存在となり、必要不可欠になることが予想されますので、来期以降、皆さんのモチベーションを上げる工夫に努めます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
演習Ⅲ A	粟津 俊二	総合満足度が5.0ですので、授業に特に問題はなかったと判断します。みなさんよく頑張りました。
演習Ⅲ A	井上 綾野	今学期はサービスマーケティングというテーマを設けて学びましたが、深く学ぶことができてとてもよかったです。
演習Ⅲ A	角本 伸晃	<p>Q「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」は4.80と、全体平均の4.39より高い評価を受けました。</p> <p>後期も引き続き頑張りたいと思います。</p>
演習Ⅲ A	金津 謙	ご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
演習Ⅲ A	神山 静香	多くの項目で回答者から肯定的な評価をいただきありがとうございました。特に、自分自身の成長を実感できたかとの質問項目について、回答者全員が肯定的な回答していること、また、自由記述では、知識の幅が広がったことや課題解決力の向上が挙げられており、大変嬉しく思いました。今年度の評価は次年度に活かしていきたいと思います。
演習Ⅲ A	駒谷 真美	<p>全体的にゼミ生は、4月当初から個人の卒論活動・グループでのラジオ番組制作活動、ともにかなり意欲的に進めている。</p> <p>個々の卒論活動では、自分の卒論テーマについて先行研究や文献にあたり、最終的にオリジナリティに富んだテーマを選定できていた。この試行錯誤のプロセスを体験したこと、今後の卒論や就活活動に際してのレジリエンスにつながってくれるだろう。</p> <p>グループとして大学公認ラジオ番組「JJラジオ1」の活動においては、毎月の担当グループが、メインパーソナリティとして、工夫しながらベストを尽くしている。メディアゼミの一員として、番組公式インスタの多角的な展開やJJ Timesの執筆など更なる高みを目指して奮闘している。</p> <p>その結果が、授業アンケートでは、成長実感・学習意欲・自己評価・意欲取り組みに高い数値として表れていた。ゼミ生たちの育ちを見れて大変喜ばしい。</p>
演習Ⅲ A	標葉 靖子	ゼミ・個別相談で適宜フィードバックします。

[2025（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅲ A	篠崎 香織	ゼミはチームで動いてもらう際でも、各人が自分のやりたいこと、やるべきことを意識して進めて欲しいです。前期の活動を通してその辺り側買ってきたのと思うので、後期はより自律的に動けるとよいです。 引き続き頑張っていきましょう。
演習Ⅲ A	蔣 飛鴻	履修者11名のうち、3名の回答がありました。総合評価では全体平均の4.39に対して、この科目は4.33となっております。不本意でゼミ入室した学生をより満足できるような授業内容を組みなおしたいと考えております。よい講義を継続できればと思います。ご回答をどうもありがとうございました。
演習Ⅲ A	高橋 美和	アンケート回答者が3名のため、数値についてはコメントできません。コメントでは、外国人とコミュニケーションを取る実習から、異文化に関する様々な学びがあったとあるので、それは良かったなと思います。卒業研究のテーマにぜひつなげていってほしいです。
演習Ⅲ A	竹内 光悦	おつかれさま。回収率が低いのが気になりましたが、もう少し何かできればと思いますので、不明点があれば早めに質問を。
演習Ⅲ A	竹内 美香	前期間、お疲れさまでした。 仕事でつかえるExcelの基本から応用まで、先輩のホンモノのデータを使って実習して頂く前期間でした。 最初はただの「碁盤目模様」にしか見えなかったExcelが、実はとても便利なアプリだと、親しみを感じられるようになったのではないかでしょうか。 机上にDT_PCの設置された教室環境で、教員との間に距離を感じた方もあるたのではないかと少し心配しています。毎回「大人しいね、遠慮しているの?」とお聞きしていたのですが、後期はどうか心配しないで、楽に声をかけてください。 竹内(美)、大変申し訳ないのですが、体調のことで、今年度いっぱい本学教授職を退任いたします。 学生さん達のことは大好きです。 後期間、短いですが、ご一緒に精一杯学びたいと考えています。 よろしくお願ひいたします。
演習Ⅲ A	時田 朋子	専門ゼミとなり、準備に加えて発言も求められ大変だったかもしれません。 しかし皆さんには4月に比べて大きく成長しました。後期はプロジェクトを実施します。楽しく頑張りましょう。
演習Ⅲ A	富田 望	毎回の予習・復習、発表準備など、とても大変だったかと思いますが、卒業研究に必要な知識をしっかりと身に着けることができたのではないかと思います。学ぶ楽しさを忘れずに、後期も一緒に頑張っていきましょう。
演習Ⅲ A	初見 康行	演習Ⅲ Aでは「女性の仕事・働く」をテーマにゼミ運営をしてきました。 前期は個人ワーク・グループワーク・フィールドワークの3つを通して、「自分にとっての働くとは何か」を探求するきっかけ作りが出来たのではないかと思います。 後期は、夏季休業中に参加したインターンシップの成果発表から開始する予定です。 就職活動も忙しくなると思いますが、悔いのない大学生活を送るために頑張っていきましょう。
演習Ⅲ A	原田 謙	前期は、指定文献の発表や、各自のフィールドの現状分析を進めました。後期はPBLにも取り組むので頑張りましょう。
演習Ⅲ A	広井 多鶴子	授業を通じて自分の成長が実感できたという回答が多く、自己評とも満足度も高くなっています。実際、みなさん発表もグループワークも課題もとてもよくがんばったと思います。この調子で進めてください。
演習Ⅲ A	坊 隆史	ご回答をありがとうございます。 今年は学外PBLを実施しました。協力機関の予定に合わせる必要があつたため集中的に取り組まないといけない時期もありましたが、全員懸命に頑張ってくれた印象です。後期は新たなPBLを予定しています。楽しみながら良い学びと経験を積み重ねていきましょう。
演習Ⅲ A	山根 純佳	回答数が4件と少なかったので、全員出席の時間帯に回答の時間を設定するなどの工夫をしたい
演習Ⅲ A	吉田 雅彦	レポートを書く練習はめんどうですが、よくがんばりました

[2025（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅳ A	阿佐美 敦子	<p>皆さんには就活と並行して授業に真剣に取り組んでいただき、ありがとうございました。これは、「この授業に意欲的に取り組みましたか」という問いに71.4%の方が「とてもよくあてはまる」、28.6%の方が「どちらかというとあてはまる」と回答した数字にも表れていると思います。そして、総合的な満足度としても85.7%の方が「とてもよくあてはまる」、14.3%の方が「どちらかというとあてはまる」と答えてください、嬉しく思います。</p> <p>英語および異文化コミュニケーションスキルは将来、今よりさらに日常的な存在となり、必要不可欠になることが予想されますので、来期以降、皆さんのモチベーションを上げる工夫に努めます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
演習Ⅳ A	粟津 俊二	総合満足度が4.9ですので、授業に特に問題はなかったと判断します。みなさんよく頑張りました。
演習Ⅳ A	井上 綾野	卒論の進捗状況はそれぞれですが、自分たちでテーマを考えてそれを論文に落とし込む作業はしっかりできていたと思います。
演習Ⅳ A	角本 伸晃	Q15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」は5.0でした。この数字だけを見ると、非常に高い評価を受けましたが、回答が1人しかいないので、引き続き授業の改善に努めたいと思います。
演習Ⅳ A	金津 謙	ご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
演習Ⅳ A	神山 静香	理解度や成長の実感等、多くの項目で「とてもよくあてはまる」との評価をいただきありがとうございました。また、すべての項目で全体平均を大きく上回る評価や肯定的なコメントをいただき大変嬉しく思いました。いただいた評価は次年度に活かしていきたいと思います。
演習Ⅳ A	駒谷 真美	<p>今回は回答者が11人中2人であったため、統計的なフィードバックは差し控える。</p> <p>4年前期は就活時期であり、今年の4年生も丁寧に準備をしてきて、果敢に挑戦し、前期は正念場であったためと推察する。この大変な時期においても、ほぼ2週間に1回の割合で全員が個別指導（対面やZoom）に出席し、卒論研究を継続してくれている。</p>
演習Ⅳ A	標葉 靖子	ゼミ・個別相談で適宜フィードバックします。
演習Ⅳ A	篠崎 香織	<p>前期は就職活動と並行して卒業研究の準備を進める必要があり、大変だったと思います。お疲れ様でした。</p> <p>後期はいよいよ、アンケート調査を行うひとはデータをとり、分析していくなど忙しくなります。より一層計画的に進められるようにしていきましょう。</p>
演習Ⅳ A	薄 飛鴻	履修者13名のうち、2名の回答がありました。総合評価では全体平均の4.39に対して、この科目は5.00となっております。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答をどうもありがとうございました。
演習Ⅳ A	高橋 美和	<p>アンケート回答者が少なすぎるため、授業アンケートについてはコメントできません。</p> <p>それぞれ、卒論の文献調査の部分はしっかりできたと思います。これから的是非フィールドワークと卒論執筆に期待をしています。</p>
演習Ⅳ A	竹内 光悦	おつかれさま。後期も引き続き、卒研を進めていきましょう。不明点は早めに質問を。
演習Ⅳ A	竹内 美香	<p>しっかりした統計解析を実習することで、社会に出てからもちょっとした調査なら「内作」でこなせる人材になることを目指すゼミであることは常々ご説明しているとおりです。</p> <p>そのためには、自分が調べてみたい調査項目をしっかり選定し、後輩さんたちと一緒に学べるチャンスのある前期中に調査実施することが今期の最大の課題でした。プロジェクトというのは、コンテンツと同様に現実的な実施計画と処理の積み重ねなのです。</p> <p>皆さん、それぞれが進路活動や経済活動に迫られて大変な時期ではあったと思いますが、教員からの指示をよく聞いて、それぞれのメンバーが自分でできることを着実に取り組んでくださいました。</p> <p>データはとれた!!</p> <p>さあ、歴代の先輩たちが取り組んだように、25年度の皆さんも、手を休めず、毎日しっかりと書いてください。</p> <p>どんなに生成AIが「何か出来る」とアピールしてきても、人間の力はそんなものではないと思います。</p> <p>自分で、調べて、データを集めて考えて、書き、発信する・・・その価値はこれからますます高まる筈です。</p>

[2025（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅣA	時田 朋子	後期は卒論を書き上げます。引き続きがんばりましょう！
演習ⅣA	富田 望	研究計画の立案と計画書の作成、調査票の作成や実験刺激の準備など、各自が大忙しだったかと思いますが、皆さんとてもよく頑張っていましたね。後期の中間報告会を楽しみにしています。
演習ⅣA	初見 康行	演習ⅣAでは卒論のテーマ設定に取り組みました。 皆さんが計画的に進めてくれたおかげで、全員が卒論計画書を提出することができました。 また、多くのゼミ生が卒論の第1章・第2章に取り掛かることができました。 ゼミ生のみなさん、本当にお疲れさまでした。
演習ⅣA	原田 謙	各自、順調に卒業研究を進めています。後期は、少しでも完成度が高いものを目指して頑張りましょう。
演習ⅣA	広井 多鶴子	卒論執筆に向けて準備を進めてきましたが、「自分が疑問に思ったことを考え、調べ、さらにどのような問題があるかについてを考える力がついた」「論理的に考える力が付いた」といった感想が寄せられていました。みなさん、とてもよくがんばったと思います。
演習ⅣA	坊 隆史	アンケートのご回答をありがとうございます。 就職活動と並行しての卒業論文制作の難しさを実感されたのではないかと思います。後期はほぼ全てのゼミ生の就活が終了しています。残りの大学生活を楽しみながら卒業論文を完成させましょう。
演習ⅣA	山根 純佳	授業の理解の程度について「どちらともいえない」との回答があったので、よりわかりやすい授業の実施に努めたい
演習ⅣA	吉田 雅彦	和気あいあいと学べました
特別講義 A	初見 康行	特別講義Aでは、就職活動を意識した業界企業研究の手法を中心に学びました。 また、オンラインの合同企業説明会にも参加し、実際の就職活動に触れてみました。 大人数の講義でしたが、「就活をする上で重視されるポイントやスキル、社会にででから必要とされる知識やイメージを持つことができました。」、「外部講師の方の講義も非常にためになったので、ぜひ今後も行なってほしい。」などのコメントがありました。 講義で学んだことを、ぜひ今後の就職活動にも活かしてもらえれば嬉しいです。 最終的に「15. 総合的な満足度」の評価は4.75でした。 また、「11. 成長実感」が4.69、「16. 意欲的に取り組んだ程度」が4.60でした。 多くの学生が意欲的に学んでくれたようで良かったです。 改善点として、講義で使用したスライド資料を配布して欲しいという要望がありました。 今後改善していきたいと思います。皆さん回答ありがとうございました。
保険論	石坂 元一	概ね評価は良好でしたが、「どちらともいえない」が比較的多かった項目として自己理解の程度が挙げられます。講義内での確認演習がやや欠けていたと思われます。次の機会には、そういう時間も確保したいと思います。